

ろくのへ

議会だより

第70号

平成23年10月21日
発行/青森県六戸町議会



七百駅

「89年間の鉄道に終止符」

十和田観光電鉄

主な内容

第7回定例会の主な審議内容	2P~3P
決算特別委員会	4P~5P
5議員が町政を問う～一般質問～	6P~10P
第5・6回臨時会/十鉄の現状と今後	11P
議員活動報告/人事案件	12P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60 TEL 0176-55-3111 (代表) FAX 0176-55-3112

— 財政健全化判断比率の公表 —

町の財政状況は「健全」

平成23年第7回定例会は、9月5日招集され、9日までの5日間の会期で開催しました。町長から報告5件、認定9件、議案8件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。
また、一般質問には5名の議員が登壇し、理事者側の所信をたえました。



第7回定例会の様子

主な審議内容

■ 報告

◎平成22年度青森県新産業都市建設事業団特定事業及び特定事業以外の事業の決算報告

六戸町にかかわる金矢工業用地造成事業の、用地処分はなし、貸付は株式会社真和外2件でした。

◎平成22年度六戸町健全化判断比率を監査委員の意見書をつけて報告

◎平成22年度資金不足比率を監査委員の意見書をつけて報告

●健全化判断比率

区分	比率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし (実質黒字比率 3.71%)	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし (連結実質黒字比率 4.77%)	20.0%
実質公債費比率	16.0%	25.0%
将来負担比率	81.5%	350.0%

●資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険病院事業特別会計	資金不足額なし	20.0%
下水道事業特別会計		
農業集落排水事業特別会計		

▼財政健全化判断比率とは

自治体の財政状況をチェックする4つの指標のことです。いずれかの指標が基準値を超えると健全化に向けての計画策定が義務付けられることとなります。

【実質赤字比率】

一般会計の赤字の程度を指標化したものです。

【連結実質赤字比率】

すべての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化したものです。

【実質公債費比率】

一般会計等が負担する公債費(借入金の返済額)などの額の大きさを指標化したもので、自治体の収入に対する年間の借入金返済の割合を示したものです。

【将来負担比率】

一般会計等が将来負担すべき実質的な債務がどの程度あるのかを指標化したものです。



◎平成 23 年度一般会計・特別会計補正予算

(単位：千円)

会 計	補正前	補正額	補正後	主な補正内容	
一 般 会 計	4,718,830	82,781	4,801,611	議員県外視察研修費 総合行政ネットワークサーバ更新業務ほか 一般コミュニティー助成事業補助金 子ども手当法改正システム対応業務委託料 プレミアム商品券助成事業補助金 県市町村総合事務組合負担金 長期資金元金繰上償還	2,331 3,540 2,100 3,570 3,500 5,016 48,794
国民健康保険 事業特別会計	1,359,000	△ 3,382	1,355,618	人事異動に伴う人件費の調整等	△ 3,382
国民健康保険 病院事業 特別会計	611,172	1,290	612,462	看板設置工事等	1,290
介護保険事業 特別会計	998,780	7,452	1,006,232	人事異動による人件費 介護保険クライアント端末更新業務ほか 介護認定調査 介護予防嘱託職員 介護保険料還付金 国庫・県負担金返還金	1,549 420 760 1,599 200 2,908

■ 議 案

◎六戸町税条例の一部を改正

― 主なものとして ―

- ・ 寄附金税額控除に関する改正
- ・ 町民税・固定資産税及び軽自動車税に係る過料の額を改正
- ・ 肉用牛の売却に係る町民税の課税の特例期限を平成 27 年度まで延長する改正

◎小松ヶ丘排水施設条例等の一部を改正

処理施設使用の月の中途の開始・中止について、みなし計算方式から日割計算方式とする改正

◎固定資産評価審査委員会

委員の選任 (12 ページ)

◎人権擁護委員の候補者の推薦 (12 ページ)



平成22年度 一般会計

1億3063万円の黒字

◎歳出

(単位：千円)

議会費	73,233
総務費	1,159,420
民生費	1,188,362
衛生費	277,524
労働費	17,044
農林水産業費	200,852
商工費	37,008
土木費	710,235
消防費	252,911
教育費	785,511
災害復旧費	16
公債費	898,534
歳出合計	5,600,650

※公債費とは、借入金の返済

◎歳入

(単位：千円)

地方交付税	2,282,215
町税	933,412
固定資産税	501,076
町民税	317,664
町たばこ税	67,938
軽自動車税	25,380
入湯税	21,354
国庫支出金	990,818
県支出金	344,152
町債	528,100
地方譲与税	85,523
繰入金	196,861
繰越金	119,063
その他	301,245
歳入合計	5,781,389

※町債とは、借入金

平成22年度各会計決算認定審査に伴う決算特別委員会を9月7日、8日の2日間開催し、結果を円子徳通委員長が、9日の本会議において報告し、原案どおり承認しました。

一般会計決算は、歳入が57億8138万円（対前年比2.1%増）
歳出は、56億65万円（対前年比2.4%増）で、翌年度に繰り越し分を差し引いた実質収支は、1億3063万円の黒字になり、このうち、6600万円を基金に繰り入れました。

◎地方債現在高

(単位：千円)

区分	平成21年度末	平成22年度末
一般会計	5,974,951	5,704,115
国保病院事業特別会計	3,150,294	3,056,560
下水道事業特別会計	1,467,697	1,397,349
農業集落排水事業特別会計	170,674	162,082
計	10,763,616	10,320,106

※地方債とは、地方公共団体が資金の借入によって負う債務でその返済が一会計年度を越えるもの。

一般会計

▼歳入

下田 敏美議員
町税の欠損額を見ると2千50万円となっているが、率にして1.9%。安愚楽共済牧場が経営破たんしたが、税額的に影響がでるか。

棟方 税務課長
安愚楽共済牧場の件ですが、民事再生手続き開始決定

により、影響が出てくると思います。

川村 重光議員

町民バスの利用者が21年度3万6千人、22年度3万4千7百人と年々減少傾向にあるが、今後、どう対応していくか。

坂本 総務課長

ここ数年、減少する傾向が非常に強いと思います。現在のところは、方向性について結論は出していません。

町民の皆さんに多く利用していただくよう努力して頂きたい。

あくまでスクールバスの空き時間を利用した町民バスという考え方から、利用者の便宜をはかれればよいと考えています。

▼歳出

金崎 盛三議員

小松ヶ丘ニュータウンの除雪作業について、厚さを残しているため溶けてわだちができ、転倒して怪我をするこ

下田建設下水道課長

Q 下水道マンホールの関係で道路の面まで削れないという部分も多々出てくると思いますが、小松ヶ丘の状況を見ても業者の方に十分指導していきたいと思えます。

河野 豊議員

Q 総合体育館屋根塗装の瑕疵担保は、どうなっているのか。

川村教育課長

Q 瑕疵担保は、引渡しを受けた日から2年、故意または重大な過失により生じた場合は、10年と定められています。

特別会計

◎国民健康保険病院事業

山本 実議員

Q 患者数が前年に対し減少しているが、理由は。

田中病院事務長

A 外来患者が減少し患者の約7割の方が高齢者ですが、特に理由はありません。

Q 夕暮れ診療の効果はどうか。

A 新たな患者の獲得のため週1回で対応していますが、今のところ効果等については、午前中の外来患者が移行しているのが6・7割を占め、狙った効果はできていません。

下田 敏美議員

Q 患者の7割以上が高齢者なので、医師と患者のより良い接遇をお願いしたい。

町長

A 医師は症状により厳しい言葉もあると思いますが、優しく接するよう病院側にお願ひします。

◎下水道事業

河野 豊議員

Q 財産運用収入とは何か。

下田建設下水道課長

A 基金の利息です。

◎農業集落排水事業

高坂 茂議員

Q 大震災の停電での対応は。

下田建設下水道課長

A マンホールポンプは予備用の発電機があり、それで対応した部分と、間に合わない部分については、業者にて汲

み上げ処理をしました。

◎霊園事業

下田 敏美議員

Q 1・4区画中、24区画しか利用されていないのは。

町長

A 宣伝をするなどして、利用していただくよう努力しなければと思います。

金崎 盛三議員

Q 環境的に周辺の整備をしたらどうか。

下田建設下水道課長

A 見苦しい点は、改善していきます。

山本 実議員

Q どのような計画で利用促進するのか。

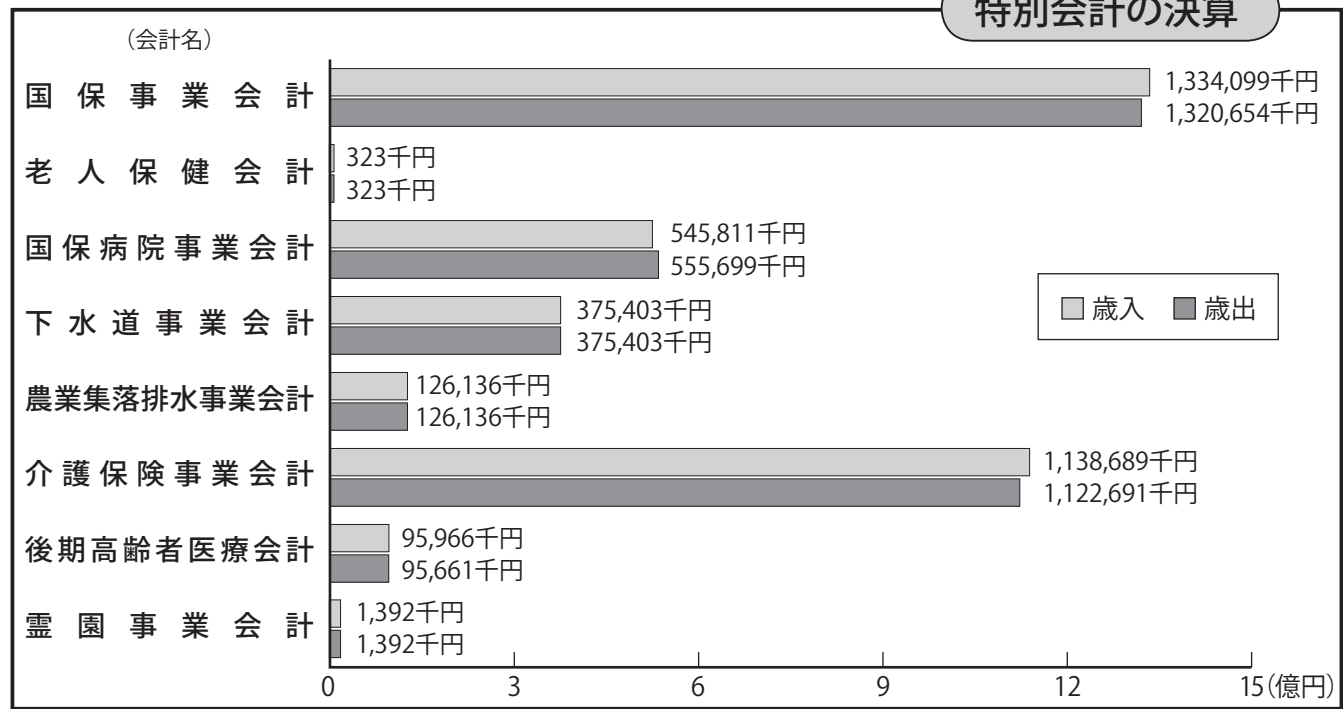
下田建設下水道課長

A 広報・ホームページ・パンフレット等でPRしています。

Q 永代使用料は、適切な金額か。

A 開発にかかった経費等から割り出しています。

特別会計の決算





母良田 昭 議員

今後の町政を問う

質問

1. 5期目への意欲は。

2. 第4次六戸町総合振興計画をどのように進めていくか。

町長 1. 近年の地方自治体は、自己決定・自己責任の原則に基づき、自主的・主体的に創意工夫し個性的な地域社会を実現しなければならぬと思います。そのためには将来にわたって財政基盤の充実、強化が不可欠であると確信し、これまで財

政管理の改善と確立に努めてきました。結果として常に変動する国の制度改革にも対応できましたが、これから先、町の財政状況は決して楽観できるものではありません。引き続き安定的な財政運営のため、これまでの取り組みを継続させていかなければならないと考えています。

また、このような状況であっても、喫緊の課題に対応し、学校教育施設の耐震化事業、防災無線のデジタル化、小松ヶ丘学童保育所の開設、六戸霊園の新設、

町営住宅の建設事業、中学生までの医療費無料化継続、若者定住者支援事業等を行ってきました。このような施策の成果として平成22年の国勢調査で、人口の減少率が県内で一番少ないまちとなったことの要因の一つと考えているところです。

行政というものは費用対効果の面だけを考えて行うものではございません。町民の声と視点を大切に、町民が幸せで安全・安心を実感できるまちづくり、住んでよかったと実感できるまちづくりが、最重要課題であると思っています。

六戸町がより安定し発展するために責任を持って執行するのが使命であると強く感じています。

2. 財政基盤の健全性を維持することに留意しつつ、選択と集中の視点にたつて、ひとつ一つ着実に推進していききたいと思っています。

防災計画を問う

質問

1. 3月11日の東日本大震災で、当町ではどのような対応を取ったのか。

2. 今後の当町の防災対応をどのように考えているか。

町長

1. 災害対策本部を設置し、各施設、道路、下水道の状況確認、児童生徒・高齢者の安全確認を行い、防災無線では、余震への注意、節水の呼びかけなどを行い、町内全域が停電となったことから、町民の不安解消と安全確認のため消防団への警戒活動を依頼しました。

2. 平成14年度には六戸町地域防災計画を全面的に見直し、地震や風水害等に対応するための基本方針を定め、平成16年には、六戸町土砂災害危険箇所マッ



毎戸配布されたマップ

プ、平成18年には、六戸町防災マップ、平成19年は六戸町地震防災マップを作成し、毎戸に配布しています。災害が発生した時の対応は、まず自分で考え自分を守ることに、できない部分を近くの人に助けを求めよう、あるいは助けてあげる、そのような防災意識を町民の方に持っていただき、その上で行政の役割として、正確な情報の収集伝達、各機関との調整、協力体制の構築などと考えています。



高坂 茂
議員

町の危機管理は万全か

質問

1. 当町の災害時防災体制は。
2. 福島原発事故による放射能汚染から、当町の農産物風評被害について、現況と対策は。
3. 小中学校の耐震性と対処及び放射能線量計（測定機）設置は。

町長

1. 地域防災計画を基本としますが、その時々々の災害に対し、情報を集め、町民自ら行動すること、地域でできること、行政が実施すること、行政が実施すること、速やかに防災体制を築いていきます。
2. 青森県では、県産農産物に対する信頼を維持・確

保していくため、県内の野菜等の放射性物質のモニタリング調査を、今年度中に約1千件の予定をしています。

当町の水稲及び野菜（ごぼう・人参・長芋）は、8月18日から調査を実施しており、当町を含め県内で、放射性物質は検出されておらず、風評被害による野菜の価格に影響がないものと確信しています。

3. 学校は、児童・生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、安全性の確保は極めて重要です。

開知小の校舎・特別教室・講堂、大曲小の校舎・講堂と七百中の校舎は、昭和56

年以降の建設で耐震基準をクリアしています。

六戸中は、平成22年度で校舎・管理棟・講堂の耐震補強工事を終えています。六戸小の校舎は、今年度中に耐震補強工事が完了予定であり、講堂は、耐震基準をクリアしています。

現在、補強工事が必要な施設は、七百中の講堂のみです。

放射線量は、青森県内20ヶ所のモニタリングポストで測られ、常に線量を知ることができます。当町はこのデータを参考に対応しているの、学校への線量計設置は考えていません。



電子投票の見直しを問う

質問

6月の定例会で質問がありました電子投票について、町長は、当面実施の方針でと回答しています。

しかし、経費面のコスト高になってきている観点から、これを見直す考えは。

町長

電子投票は、平成16年の町長選挙から計4回実施し

しており、自書が困難な方であっても操作し、自ら投票ができることから、多くの住民に浸透してきたのではと思っています。

このようなことを踏まえ、当面は実施する考えですが、電子投票の県・国政選挙への導入、また財政的負担の軽減について、今後、国が将来を見据えた対応ができない状況であれば、町としては、見直しについて検討していきます。

町民運動会の開催時期を問う

質問

8月の開催時期は、天候は暑く農作業もお盆前の忙しい盛りである。従って健康上あるいは繁忙期を考えれば、秋に開催するなどの考えは。

町長

町民運動会は50年以上にわたり実施しており、この

間、開催時期の意見等、その都度、各チームの代表者を含め実行委員会で話し合い、改善すべきものは、改善し、様々な意見集約をした結果、現在の8月開催となっています。

なお、平成24年度についても、今後、実行委員会で議員のご意見を含め、検討していきます。



久田 伸一
議員

農業問題を問う

質問

1. 「ベジタランド六戸」として野菜王国をPRしているが、今後の取り組みを問う。

2. 最近、後継者が増えてきていると思うが、町としてどのように育成・指導しようとしているかを問う。

町長

1 今後は、単に生産ではなく、私どもがキャッチフレーズとして掲げた「ベジタランド六戸」を通して農家の生産の質の良さ、努力、

そのことを背景にしながら、より多くの人に知られるように、生産技術もさることながら、外への宣伝に係る展開のあり方、そのことを関係者や農家の皆様から意見を聞きながら考えていかなければならないと思っています。



ベジタランドるくのへPRのポスター

2. 農業経営者の資質の向上、農業経営による生活の安定を図るために、町農業経営者協議会及び農業後継者の会が、会員相互の情報交換や各種経営技術の研修会、講演会を開催しています。平成21年度には、六戸町認定農業者協議会を立ち上げ、農業改善の目標を達成するため会員相互の研鑽や研修会、講演会等を実施しています。

町としても、意欲ある地域のリーダー的農業者の育成が重用課題ですので、今後とも、支援を行い、さらなる協力的体制の拡充を図り、基幹産業である農業の活性化に少しでも寄与できるように支援していく考えです。

原子力サイクル施設を問う

質問

震災後の六ヶ所村の日本原子力燃料サイクル施設に対し、近隣市町村として町の対応を問う。

町長

原子力防災対策委員会の協議内容の資料を収集しながら、今まで以上に安全なサイクル施設として稼働するように、県町村会等と連携をとり安全対策の要望をしていきたいと思えます。

質問

六ヶ所村に福島原発から、低レベルの放射能など再処理として搬入される可能性があると思うが考えは。

町長

最終処分地は、避けなければならぬと思えますが、処理的施設を有している技術があるところは、六ヶ所村しかないと思っていますので、決められたルールの中で実施されるものだと考えます。



原子燃料サイクル施設の位置



下田敏美
議員

十和田市―三沢市間を結ぶ 十和田観光電鉄の鉄道路線 存続のための支援を問う

質問

1. 多くの地域住民が通勤、通学に利用している鉄道路線を維持するために町として支援する考えはないか。

2. 鉄道路線存続のため、町長が3市町のリーダーシップをとって支援に向けて合議できないか。

町長

1. 現在、鉄道の利用者は、通学利用が8割と大部分を占めていますので、その部分の交通手段が確保されることが第一であります。

鉄道存続のため、今までは安全運転のための基盤整備を中心に国の補助制度のなかで財政支援を行ってきましたが、今般の財政支援の要望の中身については、大幅に変わっていますので、公費負担することが妥当なものかどうか慎重に検討していきたいと思えます。

2. 十和田観光電鉄線は、主に十和田・三沢両市を結ぶ都市間輸送のための線路として役割を担ってきたものと認識しています。

利用の状況からみましても、当町にありまます4つの駅の乗車客数は十鉄全体の4.7%程度であり、十和田三沢両市の利用客が大半を占めています。

また、十鉄の本社機能は十和田市にあることなど、いろいろな状況を勘案しますと、リーダーシップをとるということではなく、十和田・三沢両市と慎重に協議をしていくべきではないかと思えます。



十鉄主催の住民説明会(七百地区公民館)

「町政を知る良い機会!!」

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は12月



町議会は、町の予算や、身近な問題について話し合う大切な会議の場です。

議会は、年4回の定例会(3、6、9、12月)、臨時会(随時)を開催します。

次回定例会は、12月上旬を予定しています。

本会議の傍聴を希望される方は役場4階の傍聴受付簿に、住所、氏名を記入しご入場ください。また、本会議の状況は、役場1階ロビーのテレビでも中継放送しておりますのでそちらもどうぞご覧ください。

▽決算と予算特別委員会が傍聴できます。

・ 決算9月【前年度決算審査】

・ 予算3月【新年度予算審査】

詳しい日程等については、議会事務局までお問い合わせください。

☎0176-55-4547 (直通)



山本 実 議員

町道高森館野線の

歩道の整備を問う

質問

町を南北に結ぶ主要道路として建設した高森館野線は、その目的を達成しているが、両側歩道に雑草が生い茂り環境的にまたは、美的によくはない。希望者に管理費を拠出して植樹まずに花を植え、仮称「ろくのへ歩道花壇コンテスト」を実施する考えはあるか。

町長

コンテストは、現在予定はありません。実際は、自主的に町内会活動の一環として、道路及び側溝の清掃、草刈り、花壇の整備や空き缶拾い等を行っている町内会もあります。もちろん経費についても自らが負担し、それぞれが道路美化という観点から努力して下さっているのとらえています。そのような日頃の地域住民の活動に対しまして心から感謝申し上げます。また、引き続き今後もこのようなかたちで自分たちができることは自分たちでやる

という自立の精神を持って地域活動していただき、このような活動の輪が広がっていくようにお願いしたいものだと思います。

質問

自分たちでできないから行政にお願いするものです。花を植えたいけれど経費がかかる。助成して管理をお願いする考えがないか。

町長

委託をする金額と比較をしますとこれだけの支出をするなら、地域住民が行えばという考えが成り立つのかもありません。ただ実際に町内会が受け入れる状況にあるのかということ。他の県道・町道であっても、花壇等を自ら手入れしている方々もいますので、ご理解いただきたい。

生活に密着した生活道路の整備を問う

質問

町道等は整備されているが、生活に密着した生活道の整備をしなければならないと考えるが、各町内から要望を取りまとめ計画的に整備を実施していく考えはあるか。

町長

今までも、地域からの要望等を全部拾い上げ、計画的に現在も実施しています。また、パトロール等により危険箇所・整備が必要な箇所を順次、整備しているところです。

質問

万が一のことを想定して道路整備していただけないか。

町長

町が把握しているのは、町内会で相談してきた要望書、区長会議等における発言を住民のものにとらえています。壊れた箇所などは、パトロールなどをしていきます。

町長選出馬を問う

質問

平成24年1月に執行予定されている町長選に出馬する考えはあるか。

町長

町長選に立候補させていただきます。

この激動の時代にしっかりと両足で安定した立ち方をする六戸町でいかなければいけないと思っていますので、財政基盤のぐらつきを省き、確実にとどまっても後退はしない町で、前進する町政にしていきたいと思えます。

平成23年第5回臨時会

7月7日開催

◎凍結防止剤散布車一台
(3トン級) 取得の契約

▼契約の金額

1千5百69万7千5百円

▼契約の相手方

T C M株式会社

十和田支店

平成23年第6回臨時会

8月8日開催

館野団地住宅建設

4工区工事の請負契約

▼請負代金

6千7百20万円

▼契約の相手方

株式会社 ニイヤマハウス

六戸町立六戸小学校耐震

補強工事の請負契約

▼請負代金

6千6百15万円

▼契約の相手方

株式会社 佐藤建設工業

十和田観光電鉄電車線の現状と今後

議員全員協議会が9月5日に開催され、
十和田観光電鉄社長 白石氏より現状等の説明がありました。

十和田観光電鉄説明

(以下 会社)

平日 17往復、土日祝日
12往復運行し、学生が利用
者の8割を占めますが、沿
線の人口減、高校のクラス
減などにより、利用者は年々
減少しています。増収を目
的としたイベント電車や貸
切電車の運転、記念乗車券
の販売を行い、増収に努め
ました。今後10カ年の将来
予想について資料により説
明いたします。

附田 輝雄議員

経費節減の内容とは。

会社

人件費の基本給・退職金
カットや人員配置等の削減。
また、土日祝日減便による
電気代等の削減。

山本 実議員

電車から手を引いた場合、

今まで電車利用した方の足
の確保は。

会社

バス代替として最大限努
力します。

高坂 茂議員

1町2市で負担している
金額は。

会社

平成22年度事業の総額
は、3千1万円、青森県から
518万円、活性化協議会(1
町2市)より517万9千円
の補助金です。

杉山 茂夫議員

バスの代替運行した場合
の見通しはどうか。

会社

朝夕のバスは、8・9台く
らい必要だと思います。効率
の運行には、始発・終点の点

で生徒さんに不便を掛けない
ようなダイヤを各関係先と協
議しながら確保したい。

下田 敏美議員

運賃の値上げをしたら存
続可能か。

会社

値上げ自体は可能だと思
います。しかし、利用数は
減少すると思いますので、
値上げは、想定していません。

金崎 盛三議員

1町2市の支援の率は。

会社

従来ですと、十和田市50・
4%、三沢市31・9%、六
戸町17・7%です。

金崎 盛三議員

十和田観光電鉄は、全国
的に知られていますので、
廃止しないよう要望します。

議 員 活 動 報 告

「県下町村議会 議員研修会」

7月15日、青森市にて県下町村議会議員研修会が開催され、11名の議員が出席しました。
講師は、東京大学名誉教授大森 彌^{わたる}氏、「二元代表制と議会の価値」と題して道州制や地方自治法改正による議員定数の上限撤廃等、議会改革の講演でした。

「町村議会 広報研修会」

9月28日、青森市にて町村議会広報研修会が開催され、広報委員4名が出席しました。
講師 広報コンサルタント 深沢 徹氏により、広報の住民の知る権利、議会の知らせる義務を踏まえ、読者の目線で作成するアドバイスがありました。
今後も、研^{けん}鑽^{けん}を積み、より良い議会だよりの発行に向け努力します。



▲講師の深沢氏



人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員に田子一彦氏・三浦菊世氏を再任することに同意しました。任期は三年です。

固定資産評価審査委員は、固定資産課税台帳に登録された価格について不服があり審査申出があった場合に、審査決定する公平・中立的な第三者機関として、各市町村に設置されています。



田子一彦氏
〈昭和14年生〉
六戸町大字折茂字
畑刈下114番地3



三浦菊世氏
〈昭和19年生〉
六戸町大字大落瀬字
千刈田18番地4



十文字行輝氏
〈昭和18年生〉
六戸町大字大落瀬字
明土13番地3

◎人権擁護委員に十文字行輝氏を再任することに同意しました。任期は三年です。
人権擁護委員法に基づいて、市町村に設置される公職で、法務大臣が委嘱する民間のボランティアです。

編集後記

町民の皆様には、台風と長雨で遅れた稲刈りも終わり、ホッとしたことと思います。

8月の町民運動会を始め、成人式、秋祭り、敬老会、社会福祉大会など、私たち議員も町の行事に参加し「町の元気と思いやり」を感じたところです。

先日、環境と省エネに優れた日本の文化を「もったいない」の言葉で世界に広めたマンガリ・マータイさんが亡くなりました。さて今回の大震災から私たちが得た教訓はお互いの「絆」です。今度は、日本の地方・地域が培ってきた日本人の和の心を「おたがいさま」の言葉で、世界に発信してみたいかがでしょうか。

議会広報副委員長

杉山 茂夫

